

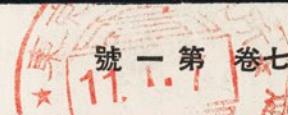
國際經濟週報

同盟通信社

NO. 829

昭和一年一月二日發行

第一號 卷七十



本號主要目次（詳細索引は第十頁に掲載）

所得の蓄積が肝要

高橋藏相 小島精一

一九三六年の世界經濟と各國の景氣政策

小島精一 四方田敏郎

協調豫算の確立

津島次官 元

時局偶感

近衛文麿 高田保馬

東亞に於ける日本の地位

高田保馬

世界景氣の現勢と前途

七

國內財界の回顧と新課題

四七

日本農業の特性

藤井米藏

聯盟主義の破綻から局地條約體制へ

三四

日滿ソ三國關係の調整

三

北支問題と日支關係の新展開

山下奉文

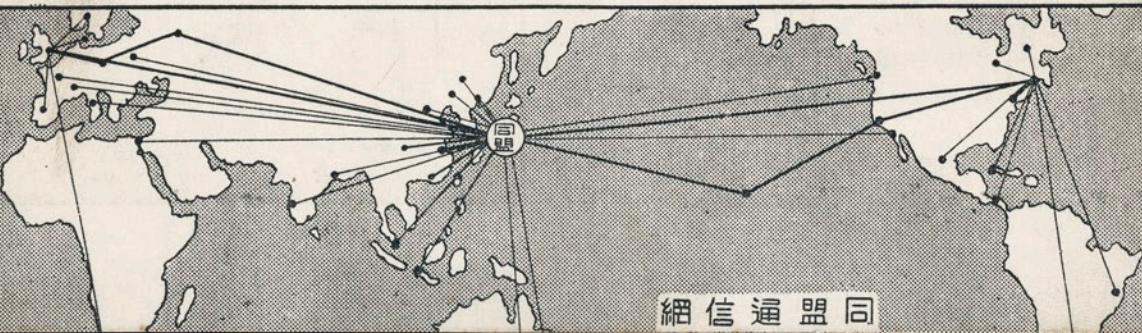
現下の國際情勢と海軍々備問題

野田清三

海軍々縮會議とその背景

三

定五十銭



大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回木曜日發行

國際經濟週報

同盟通信社

NO. 830

昭和一年九月日發行

第卷七十號二

本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

定價廿五錢

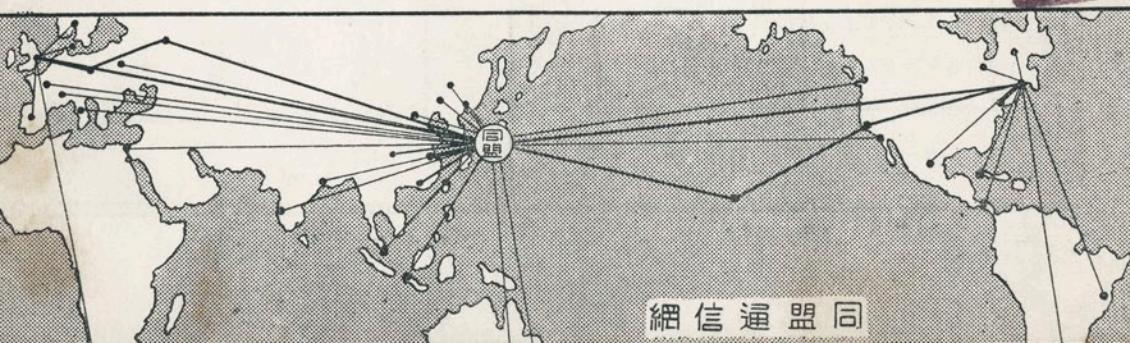
昨年の世界政治・經濟界大觀

國際政局	危機未解消裡に暗轉	先
世界經濟	大勢好調裡に推移	一〇
通貨爲替界	第二の多事な年	一一
英米の株界	記錄的活況示現	一二
世界金物界	軍擴景氣に需給好轉	一三
國際棉花界	歐阿の戰雲に需給改善	一四
生糸人絹界	勇躍カムバツク	一五
世界小麥界	持越高は恐慌前に復位	一六
世界糖業界	無協定時代を現出	一七
世界ゴム界	極めて平靜に歩む	一八
國際油脂界	在荷は世界的に減少	一九
世界海運界	運賃昂騰し繫船減少	二〇

立直る農村景氣

二六

國際收支赤字に逆轉



同盟通信社

〔新聞聯合社より繼承〕

國際經濟週報

同 盟 通 信 社

NO. 831

昭和一年十月六日發行

第一三號 第七卷



本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

定價廿五錢

荊棘未だ除かれぬ通貨安定への道

一九

ソヴェート聯邦の對英原料品註文

二〇

イタリの公共債務増大

二八

アメリカの綿製品製造利潤に就て

二三

農調法敗北とその影響

二五

AAA違憲判決と新農業対策

二三

アメリカ一般及び豫算

二二

兩教書の内容検討

二一

基調不變の金融界

二〇

日鐵、銑鐵共販の協調決裂

一九

紡機過剩問題の重大化

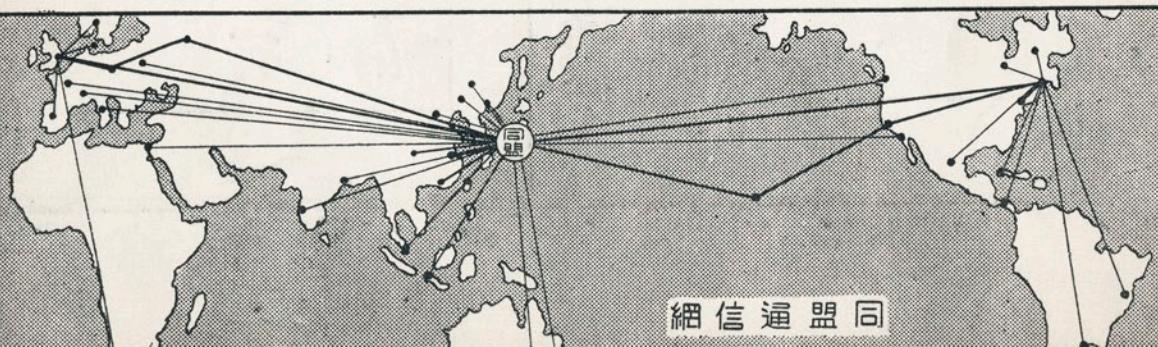
一八

躍進を遂げた昨年の對外貿易

一七

業績向上を示す肥料界展望

一五



大正九年十月九日第三種郵便物認可

國際經濟週報

同盟通信社

NO. 832

行發日三廿月一年一十和昭

號四第 卷七十第

11.1.24

本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

【新聞聯合社より繼承】

イギリス昨年の貿易情勢

三

農調法の代案としての土地蝕壊防止擴充

三

一路アメリカを目指す金銀の流れ

三

米英クロスの強調事情

二

綿布輸出統制の合理的的解決方策

二

生産・輸出協議會の圓満なる運行

三

輸出と統制との一元化へ

三

トルグシン廢止とルーブル強化策

三

軍縮會議決裂と各國の

建艦競争概觀

T·Z·Y 三

増税の氣運濃厚

三

人絹消費の基調異變

三

計畫資本の増勢

三

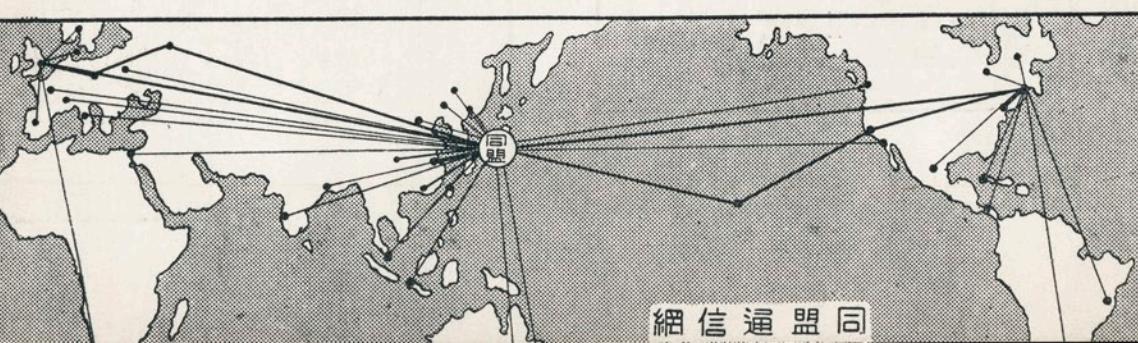
評社會 拂込徵收の大同電力

三

特配續行の昭和肥料

三

期四第年昨
錄目引索總誌本
附添に末卷



同 盟 通 信 報

國際經濟週報

同 盟 通 信 社

NO. 833

昭和十一年一月十三日發行

第 卷七十一 第五號



本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

定價廿五錢

土壤風化防止法を強化援用する

アメリカ新農業政策の全貌

元三

景氣恢復の必須條件たる國際協調

元八

就業分野に反映したイギリス産業構成の變化

元九

ドイツ昨年の工業界大勢回顧

元一〇

世界五十大銀行の預金調べ

元一一

ドイツの原棉買付け分散主義

塚本義隆元三

中國通貨混亂の諸要因

上海支局 寺西吳郎益

條約廢棄後のシャム國關稅政策

在盤谷 植松秀雄益

冀察、冀東兩政權の將來と軍部

阿須好晴元五

時評||朝鮮と臺灣との再認識

元六

日加新協定の成立

元七

好調を持続する製紙界展望

元八

労働統計昨今の趨勢

元九

需要増加に恵まれる炭界情勢

元一〇

【新聞聯合社より繼承】

國際經濟週報

同盟通信社

NO. 834

昭和二年六月一日發行

第一六號 卷七十七

インフレに拍車をかける

アメリカ軍人恩給法の成立

アメリカ・インフレの諸要因

世界人経界の躍進と日米の王座争ひ

前途を樂觀される世界銅界

アメリカ自動車工業は好況

本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

定價廿五錢

評社會

増資氣構えの國產工業
増配した人造肥料

前途波瀾含みの製粉界

日滿通貨協定の實績

綿業の採算割れ擴大

進退兩難のフランス財政經濟政策

時評＝松岡滿鐵總裁の黃河治水計畫

根本的條件

將來益々多難の支那新幣制

小島精一著

世界通商恢復の

ヴァン・ブリツシングゲン著

三

進退兩難のフランス財政經濟政策

ヴァン・ブリツシングゲン著

三

日滿通貨協定の實績

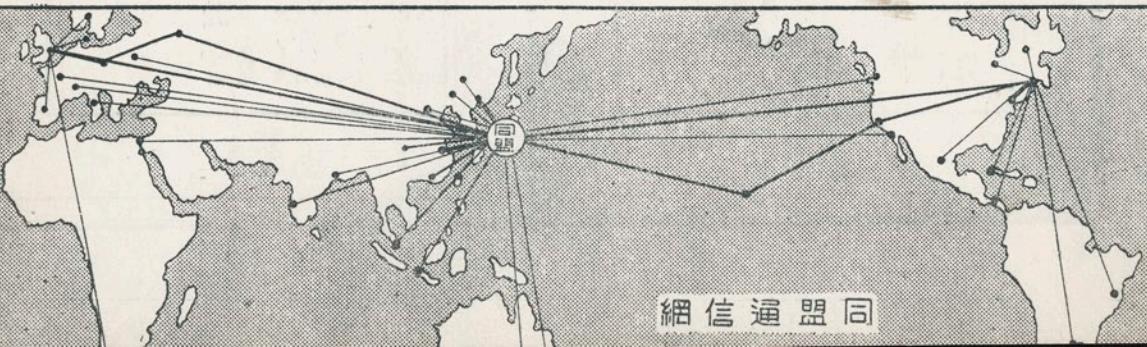
瓦

前途波瀾含みの製粉界

瓦

增資氣構えの國產工業

瓦



同報通信網

國際經濟週報

同 盟 通 信 社

NO. 835

昭和二十一年十月三十日發行

第十七卷 第七號



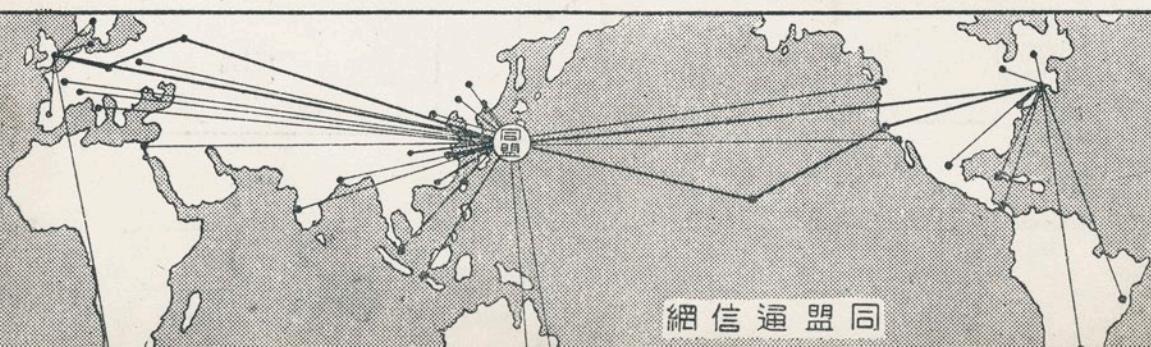
本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）



- 重要產業の景氣回復先導競争 四四
 氣景米國と 四四
 農產物統制三法律の撤廢 四五
 昨年度の景氣指標検討 四六
 棉花の政府手持繼續と融資棉秩序的處分 四二
 成立近きランカシアの紡機整理案内容 四三
 一月の國際商品界回顧 四〇
 平和か戦争か國際政局の底流 四一

- 著しく具體化した對伊石油斷交案 四二
 耦進的に累増する中國の非常時公債 四三
 イギリス好景氣の前途觀 四八

- 時評||アメリカ財經政策の新轉換 四九
 不動産金融の不振 四九
 我が綿布の輸出阻止 五〇
 日ソ漁業條約改訂交渉は暗礁に乗上ぐ 五〇
 増配續出の電力界 五〇



同 盟 通 信 紹

國際經濟週報

同 盟 通 信 社

NO. 836

行發日十二月二年一十和昭

號八第 卷七十

THE JAPANESE COMMERCIAL & INDUSTRIAL

本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

イギリスの外債引受け抑制緩和

昨年の日英米獨佛貿易實績とその傾向

四三
四三
四三

全米に及ぶ大土木事業著しく展開

四三
四三
四三

イギリスの銀行業績は好調

四三
四三
四三

ユー・エス・スチール社四年振りに黒字決算

四三
四三
四三

ニヴァス無期延長と蘭印糖業統制の將來

四三
四三
四三

悪化せる滿蒙國境事件の重大性

四三
四三
四三

アメリカ政府金融機關の構成

四三
四三
四三

中國内債強制借換への及ぼす波紋

四三
四三
四三

我が世の春を謳ふ世界石油界

四三
四三
四三

時評||軍擴競争下の世界

四三
四三
四三

起債界の不振原因

四三
四三
四三

セメント限産率擴大か

四三
四三
四三

満鐵の社債難打開策は如何

四三
四三
四三

記念増配期待の東京電燈

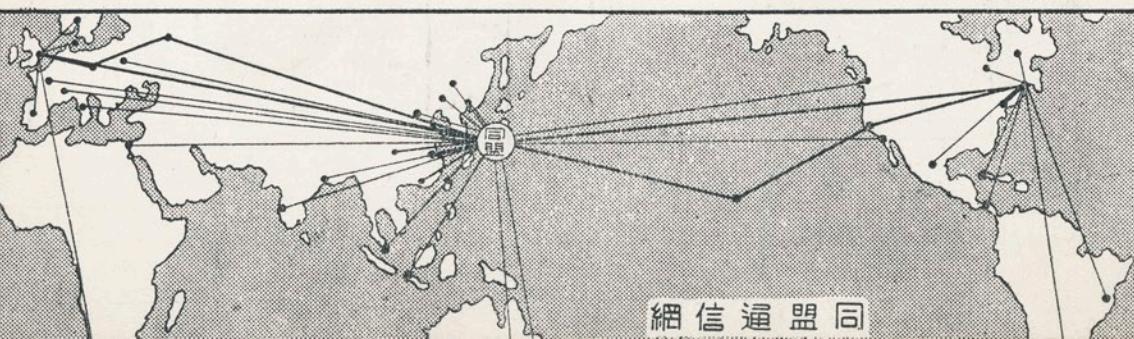
四三
四三
四三

評特配二分内定の松竹キネマ

四三
四三
四三

社會評特配二分内定の松竹キネマ

四三
四三
四三



毎正九年一月九日第三種日報行可

國際經濟週報

同盟通信社

NO. 837

行發日廿二年十月廿七日

號九第 卷七十第



東京商工會議所

本號主要目次

(詳細表は第四頁に掲載)

定價廿五錢

前途好望を豫想される

世界原料品市場の情勢

TVA勝訴判決とその經緯

英佛四千萬ポンド借款成立の事情

インド對英綿布關稅の前途

アメリカ產銅會社の國內銅賣り値引上げ

アメリカ銀政策の悲喜劇

一九三五年の銀價と

銀の消費及び供給

イー・ヴィ・ベル
三一
西元

落付を示す上海爲替市場と
レーント算出の基礎

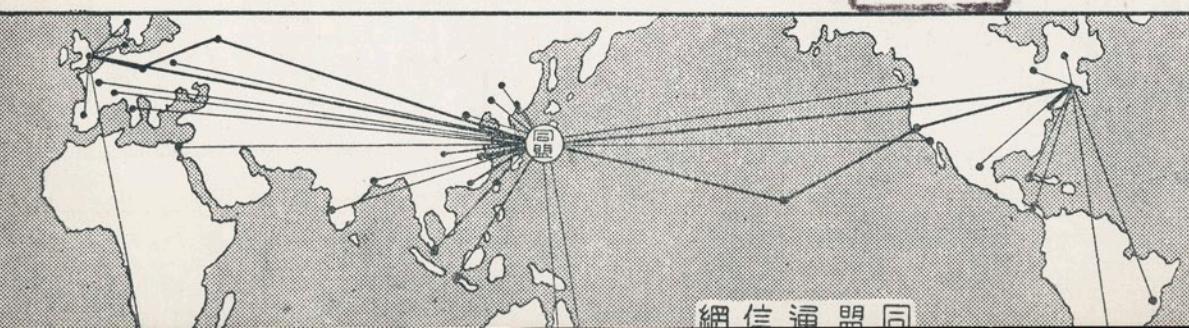
寺西吳郎
西元

時評||財界は憂状模様

大銀行の總純益は減少
紡聯統制分野の擴充
多少持直しの鐵鋼界

世界に延びるイギリスの航空網

西元
西元
西元



同報通信社

國際經濟週報

同 盟 通 信 社

NO. 838

昭和三年五月一日發行

第十一卷 第七十號



本號主要目次
(詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

アメリカ建築活動と鐵道界の近狀 ······ 廿一
天然資源の缺乏を克服する

ナチス・ドイツの燃料對策

アメリカ恐慌の產物

タウンゼンド案の全貌

五九

成立せるアメリカ新農業法の特徵

五七

インド新豫算と所得稅減免

五二

時評 || 不祥事件と財經政策の積極化 ······ 五六
展望 || 叛亂事件と財界、英國防費の膨脹 ······ 五六

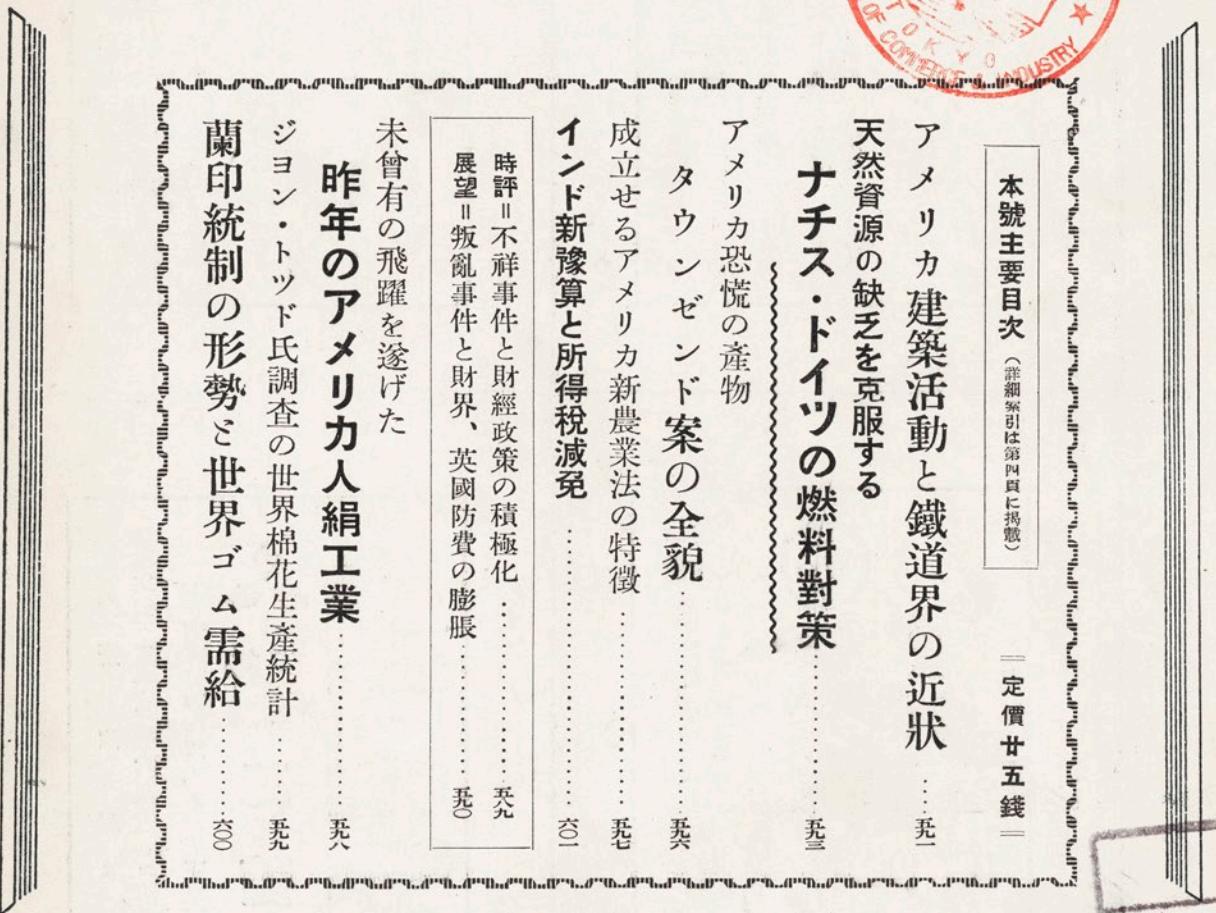
未曾有の飛躍を遂げた

昨年のアメリカ人絹工業

五六

ジョン・トッド氏調査の世界棉花生産統計 ······ 五六

蘭印統制の形勢と世界ゴム需給 ······ 五〇



國際經濟週報

同盟通信社

NO. 839

行發日二十月三十一年和昭

號一十第一 卷七十第

11.3.10

本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

— 定價廿五錢 —

新内閣の經濟政策 小島精一 著

アメリカの廣汎な稅制改革 売
ダニユーブ諸國の經濟状勢 売
公開市場から退却するアメリカの銀買上策 売

スターリンの怪氣焰、革命は輸出せず 売
ドイツ、ロカルノ相互保障條約を破棄 売

二月の國際商品市場回顧 売

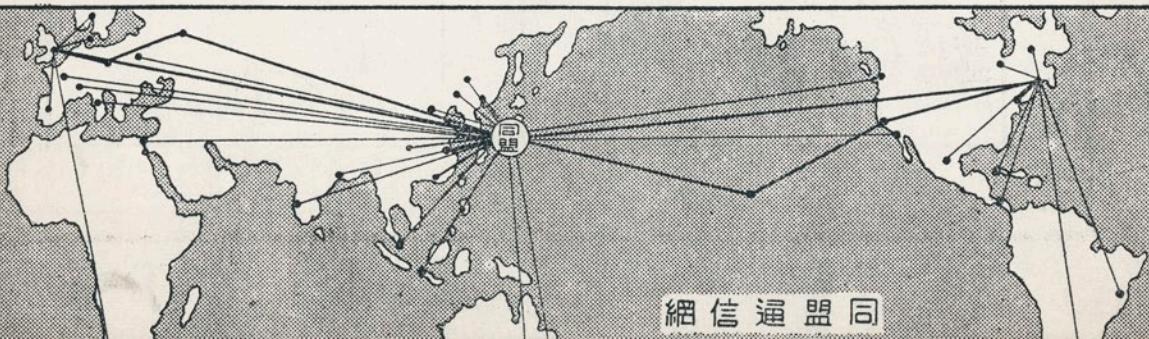
國際新砂糖協定達成への準備工作 売

事件突發後の我が金融界 売

社会評論
浅野セメントの今後 売
増配期待の大日本製糖 売

（右側）

毎週一回木曜日發行



同 盟 通 信 紹

國際經濟週報

同 盟 通 信 社

NO. 840

行發日九十月三十一年和昭

號二十第 卷七十第

11.3.23

アメリカ新農業計畫の具體的全貌 七二
アルゼンチン經濟界の回復 七三
イギリス纖維工業の變遷 七五

ロカルノ體制爆破と

ドイツの現勢打診

批評期の滿洲經濟

小島精一

七〇七

馬場財政の基幹

馬場財政の課題

熊田克郎

七〇四

轉換期日本
の生んだ廣田内閣成立の經緯

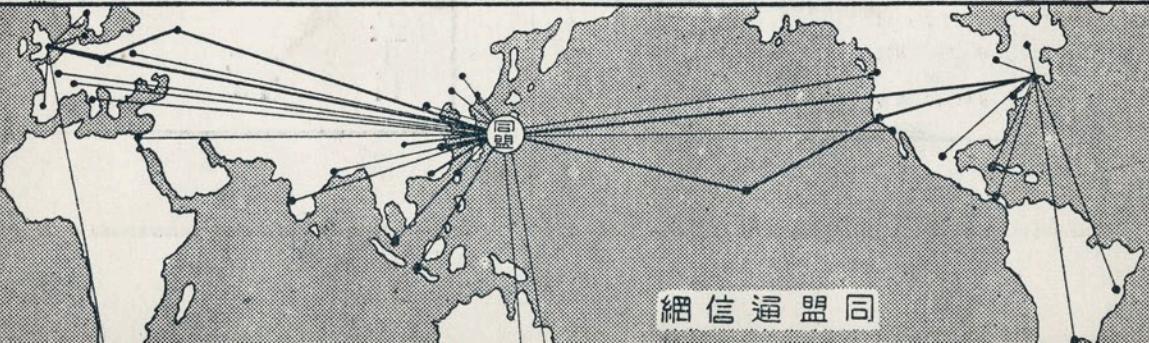
七〇五

波瀾含みの起債界
竊糸國策の再検討

七三

本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

— 定價廿五錢 —



國際經濟週報

同盟通信社

NO. 841

行發日六廿月三年一十和昭

號三十第 卷七十第



本號主要目次（詳細案引は第四頁に掲載）

＝定價廿五錢＝

オツタワ協定の改訂要求覺書内容 目録

アメリカ匡救事業費追加と業績 目録

世界のニッケル消費増加著し 目録

世界鐵鋼生産高は引き続き増加 目録

一九二九—三四年世界貿易の推移 目録

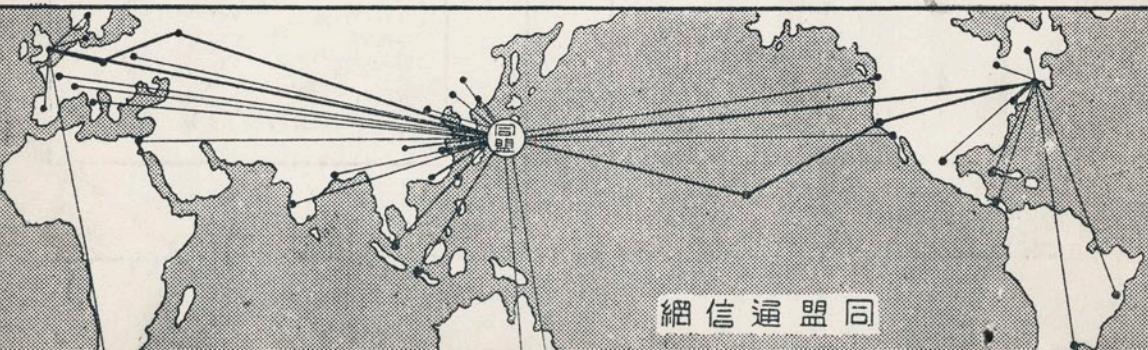
ドイツ輸入統制實施二ヶ年の成績 目録

困難を加えたフランスの現勢 目録

紡織工業組合設立と 目録

電力國營問題の展開 目録

岐路に立つ株式市場の前途觀 目録



同同盟通信社

國際經濟週報

社團法人 同盟通信社

NO. 842

行發日二月四年一十和昭

號四十第 卷七十第



本號主要目次（詳細索引は第十二頁に掲載）

＝定價廿五錢＝

特

統制經濟は何を齎らしたか

□イタリイの金融及び株式界の情勢 八七

□ナチス統制下のドイツ株式取引 八九

□ドイツの信用機關統制 三

□ソヴエート經濟復興政策の發展 三

恢復期に於る國際資本市場

八三

低金利に一步前進せる馬場財政の進路 金

肥料工業の統制問題 金

農業政策の再検討 金

金

金

金

イギリス新歲出豫算の展望 一九

アメリカ産業活動の増大見越し 一九

インドの織物關稅改正 一九

アメリカ映畫企業の躍進 一九

金

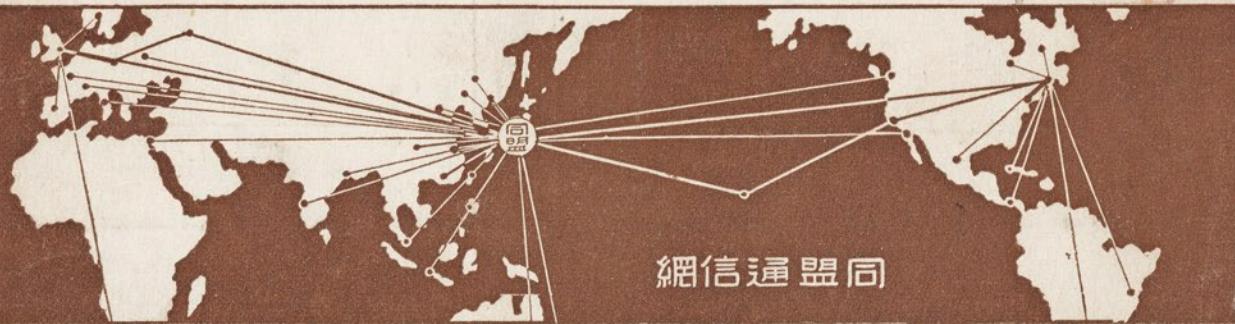
金

金

金

金

同盟通信社



國際經濟週報

社團同盟通訊社

NO. 843

行發日九月四年一十和昭

號五十第 卷七十第

本號主要目次

(詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

通貨政策轉換か、シヤハト總裁の辭任説 九〇

英印オツタワ協定の廢棄

インド立法議會の決議案内容 九一

伊エ戦の影響顯著な

スエズ運河の通航狀態 九二

大勢保合を持続した三月の國際商品界 九三

時局多難におびえる黃金の世界放浪

フランスの選舉制度と

政府負債の膨脹 九四

ソヴエート聯邦の國防費豫算は著増 九五

金利革命の機運進む

農村負債整理の現況 九六

過去五十三年に亘る

米生産狀況の變遷 九七

時評＝增稅と產業國營問題 九八

期一年第本
錄目引索總
附添に末卷



國際經濟週報

社信通盟同人團社法

NO. 844

行發日六十月四年一十和昭

號六十第 卷七十第

本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

直接稅より間接稅へ

アメリカ稅制最近の傾向

卷六

財政難と諸國の富貴風景

卷七

アメリカ今春の自動車界

卷八

回復の一途を辿るイギリスの景氣指標

卷九

第一次金利革命成る

卷十

インフレ下に於ける本邦

卷十一

資本市場の動向

卷十二

平價切下げ後一ヶ年

卷十三

ベルギーの經濟的回復

卷十四

日本銀行の金利引下げ

卷十五

普銀及び貯銀の利下げ追隨

卷十六

五分利債三分半物へ借換

卷十七

十一年度實行豫算決定

卷十八

時評=形骸化した肥料統制法

卷十九

内國二ユニーク



同人團盟通信網

國際經濟週報

社團法人 同盟通信社

NO. 845

昭和十四年十月三十日發行

第十七卷 第七十號

本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

中國昨年の國際收支推計	107
アメリカの農村電化事業概觀	108
世界人絹界の趨勢	109
生産減、消費増加の豫想	109
世界のゴム界展望	110
統制經濟下に於ける我が 財界の動向	111
安定は如何に破れるか	111
中國の通貨現勢打診	116
寺西吳郎	116
綿布生産の一元的統制は困難	114
三井財閥の轉向工作	114
低金利と生保界	105
航路統制法の制定とその效果如何	104
時評・軍擴工作と國民經濟	103

同盟通信社



國際經濟週報

社團法人 同盟通信社

NO. 846

昭和十四年十月十三日發行

第十七卷 第八十號



本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

頽勢を示す一九二六—三五年の

アメリカ綿業の概観

10回

復興の曙光を見るドイツの船舶界近状

10回

十五の甜菜糖會社を合同する

10回

イギリスの糖業統制

10回

熱意を缺く本年のアメリカ議會

10回

失業救濟及び事業振興を中心とする

ドイツの非常時財政

10回

日埃會商は果然中斷

10回

日濠會談の危局

10回

人絹の増產抑制決議とその實際的效果

10回

全產聯の主張に接近著しき

退職積立金法の修正案

10回

時評 日・ソ・獨の軍需工業對比

10回



同盟通信網

國際經濟週報

社信通盟同 大法團

NO. 847

行發日七月五年一十和昭

號九十第 卷七十第

本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

— 定價廿五錢 —

中國の金融機構改革

左翼人民戰線派の一大進出で

フランス銀行の改革問題再燃

ソ聯極東新鐵道敷設工事を急ぐ

イギリスの再軍備豫算

國を擧げて繁榮を謳ふ

南阿聯邦の財政と金鑛

パレスタインの繁榮

獨立派ワフド黨の勝利と

エヂプト政界の近情望診

東北振興策の打診

日印バーター貿易の實績

商工中央金庫法案への期待

時評 軍需工業と過剩能力

一一〇

網信通盟同



國際經濟週報

同人盟通信社

NO. 848

昭和五年十月四日發行

第十二號 第七十七卷



本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五銭

究局は金本位離脱か

急迫のフランを繞る問題 二金

北支の密輸入問題とその實相 二金

水力資源開發と

滿洲國の電力統制 中村富士太郎 二三

諸國の電力政策検討

ドイツの動力經濟法 二九

フランスの地方的統制 二八

轉換期に立つアメリカの統制 二八

ソヴェートの超大發電計畫 二八

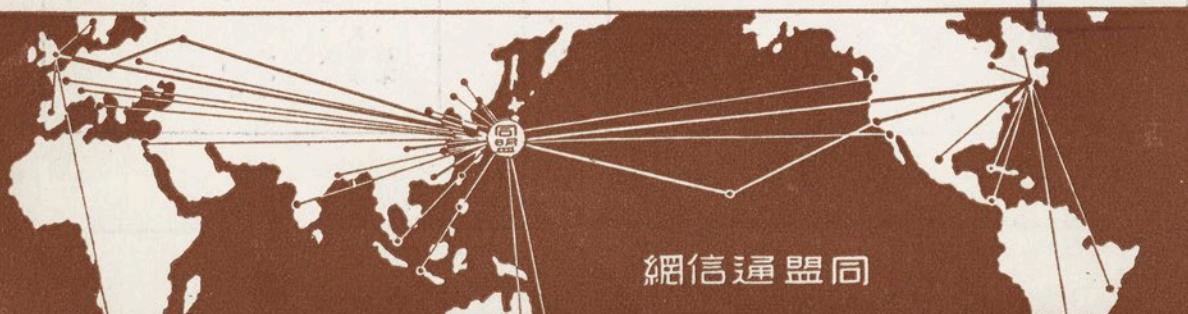
我が電力統制計畫案の內容 二八

ガソリン値上げ問題 二五

議會に於ける馬場財政 二五

時評 大財閥の奉公的投資 二七

同人盟通信社



國際經濟週報

社團法人 同盟通信社

NO. 849

昭和五年十一月一日發行

第廿一卷 第廿七號



本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

二定價廿五錢

米支通貨協定成立と

中國幣制の前途 ······ 寺西 吳郎 ······

ルーブル價切下げとソ聯の通貨政策 ······

西

南阿以外に於ける増産と

世界產金界の趨勢 ······

西

ニューヨーク株式崩落と

アメリカ財界の基調 ······ 小島 精一 ······

三三

米國大統領選舉前哨戰 ······

三七

アメリカ新通商政策の再検討 ······

三八

イギリス事業會社の業績好調 ······

三九

紡績カルテルの危機及び綿業對策問題 ······

四〇

自給自足近き鐵鋼業膨脹と

時評・肥料統制問題の示唆 ······ 一三三

鐵鋼國策の轉換 ······

一四九



同同盟通信網

國際經濟週報

社 信 通 盟 同 聯 大 社

NO. 850

行發日八廿月五年一十和昭

11.5.20 第廿二號 卷七十第一



本號主要目次
(詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

ナチ陣營の經濟論爭

元一

アメリカ新政策二法案又もや違憲

元三

エレンボーゲン法案とその合法性

元五

密輸にからむ共同戦線と

列國の北支那權益

元四

日米綿布協商決裂し

アメリカは遂に綿布關稅引上げ断行

元六

關稅引上げか輸入割當か

行惱む日英絹業交渉

元七

米支金銀交換協定の意義

元八

輸出貿易の伸張力鈍化

元九

爲替管理の再強化問題

元十

時評 重大化した貿易悪化

元十一



同 盟 通 信 網

大正九年五月九日第三回本曜日發行
毎週一回

國際經濟週報

社團法人 同盟通信社

NO. 851

昭和六年四月六日發行

第廿三號 卷七十



本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

一定價廿五錢

中國の第二次幣制改革と

上海爲替の動向

三五

大勢好調を示す世界羊毛界展望

三三

發達未だしき中國羊毛界

三四

世界の小麥需給觀

三五

イラクの輸入制限

三六

濠洲の邦品防遏經緯と

三七

濠毛制限の對策

三八

輸出入趨勢に見る

濠洲の經濟界近情

三九

特別議會に表明された

馬場財政の針路

三四

今後の事業會社業績如何

三四

議會を通過した農村對策諸案

三四

時評=電力國營案への疑問

三四



同盟通信社

國際經濟週報

社團法人 同盟通信社

NO. 852

行發日一十月六年一十和昭

號四廿第一 卷七十第



本號主要目次（詳細索引は第四頁に掲載）

定價廿五錢

アメリカ商船隊再建案 四八
生糸業更生の捷徑

ローゼン氏の定期取引改善案

四九

需給増大の世界アルミ工業 四〇
時評 || 新産業福利運動の役割

四〇

佛國新閣成立 熊田克郎 四〇
——と フランの運命

熊田克郎

四〇

△ 内閣更迭の前夜 四〇

△ フランスの政黨と選舉

四〇

△ ファシズムと反ファシズム陣營 四〇

△ 経済対策と経済窮状

四〇

△ 民衆戦線分裂の危機 四〇

四〇

濠洲に對する

通商擁護法發動の影響 四六

▼ 内外ニュース ▼

フランスの破局的危機 四二
フランスの罷業擴大 四三
フランス新内閣の政綱 四三
アメリカ増税案上院通過 四三
日印綿布協定三年度の成績 四三
錫協定の更新は困難 四三
諸國の對米投資狀況 四七
アメリカ新募債大成功 四七
イギリス對外投資の形態 四六
大連鈔票の門相場 四〇



國際經濟週報

同人通訊社

NO. 853

行發日八十月六年一十和昭

號五廿第一卷七十第

11.6.22

本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

定價廿五錢

フランス新内閣の
勞働及び社會立法

金通貨切下げの意義

世界の金供給増加と物價に及ぼす影響

時評 || 佛國版ニュー・ディールの成否

電力國營案の特徴

奥村喜和男

穩健な初繩相場

一四六

綿業を中心とする
貿易調整の具體案

一四九

人絹織物の對世界市場輸出統制

一四〇

▼ ▲ 海外ニュース ▲ ▼

フランス貨危局を彷徨
アメリカ共和黨の政綱
フランス總罷業形勢
一四七
一四六
一四九
一四〇
一四一
一四二
一四三
一四四

同人通訊網



國際經濟週報

社團法人 同人通訊社

NO. 854

行發日五月廿六日和昭

號六廿第一 卷七十第



本號主要目次 (詳細索引は第四頁に掲載)

二 定價廿五錢 =

日本と南阿聯邦との

通商關係は好轉か

一五三

巨額の資本流入とアメリカ國際收支

一五三

フランの過大評價は二割五分か

一五五

金の國際的移動

一五四

支那に於ける日英經濟提携の

一五〇

限度とリースロスの役割

一五七

滿洲開發の新段階 小島精一

一五七

獨歩の強味を誇る造船界の活況

一五六

時評 || 板垣三原則の實現性

一五五

▼ 内外ニュース ▼

- | | | | |
|-------------|-----|-------------|-----|
| 佛國新政策具體化へ | 一五三 | 米ソ通商協定の成績 | 一五三 |
| 米國增稅案成立 | 一五五 | ベルギーの労働争議 | 一五七 |
| 同商品取引取締法裁可 | 一五五 | 濠洲の對日通商政策 | 一五六 |
| 同軍人恩給公債支拂 | 一五五 | 六月中旬の本邦對外貿易 | 一五〇 |
| 同鋼鐵業勞働組合結成か | 一五五 | 大連特產の金建問題 | 一四五 |



同人通訊社

國際經濟報

No. 855

行發日二月七年一十和昭

號七廿第 卷七十一第

英米通商政策の再検討

汎米ブロツクとアメリカの互惠通商策 [三]

イギリスの通商策と日本品抑壓策動 [三]

西南問題の歴史とその將來 [三]

北支密輸問題の本質と調整策 [三]

アメリカ今期議會を通過した

經濟關係立法列傳 [三]

着々進展する財閥の偽裝工作 [三]

綿糸の生産調節策成る [三]

事業界 時代の寵兒ステーブル [三]

常識講座 フランス銀行改組問題 [三]

時の人 ランドンとその政策 [三]

△→↓ 内外ニュース ↓→△

對豪通商擁護法發動 [三] リースロス氏の聲明 [三]

アメリカ民主黨大會 [三] 獨支軍需品借款密約 [三]

フランス銀行利下げ [三] 天津稅關監視船の暴行 [三]

イスの爲替制限令 [三] パラグアイの邦品防遏 [三]

社信通同盟

國際經濟報

(No. 856)

號八廿第一 卷七十第

行發日九月七月和昭

【主 要 目 次】

工チオピア開發とイタリー經濟

陸軍の要求する革新政策の行衛

躍進する獨支貿易

滿洲の治外法權撤廢と今後の問題

民主黨の政綱とル大統領の人氣

英蘭銀行の金買入れと平衡資金の活動

アメリカの國債激増

米國鐵鋼労働組合結成運動

重大化するアメリカの旱魃

漸く解決した貯油義務問題

事業界 硫安市價の崩落

時の人 三井合名の首腦部列傳

常識講座 財閥の自動車工業進出

トビック 投資新形態、豊富すぎる生活

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 本曜日發行

(No. 857)

號九廿第一 卷七十第

行發日六十月七年一十和昭

〔主 要 目 次〕

ダンチヒ獨立問題 一三

イギリスの好景氣に反動の兆 一五

支那通貨安定の裏面 一六

轉換期に立つ産業組合の渦巻 一八

増稅の目標と範圍 七

南進政策と南洋の重要な資源 九

滿洲における金融機關整備問題 一一

満洲における金融機關整備問題 一九

トビツク 婦人閣僚の脱情問題——藏相の人命救助 一七

ル大統領の憲法論——人造ゴムの威力 一七

時の人 フランス首相レオン・ブルーム 二二

常識講座 北支の密輸と特殊貿易 二三

六年來の高値を示したゴム界の活況 一九

世界の銅界は依然好調 二〇

本年第二期總索引目錄 卷末に添附

定價廿五錢

社信通盟同

國際經濟報

(No. 858)

號十三第 卷七十第

昭和十七年七月三十日發行

【主　要　目　次】

ブルーム内閣の財政危機打開策 一一

不死身のフラン 一四

世界航空機工業の飛躍的發展 一五

煙草消費の變遷 一六

紛糾する人絹聯合會の統制問題 一一

渦巻 電力國營案論爭

白熱化する論戰と國營案の行衛 一七

〔く〕 遅信當局の電力國營案大綱 一八
當業者の反對論據 一〇

二常識講座 二中全會 一七

三海外トピック 一英國の新巨船一空にも税金
大豆が建築用材一白金發見異聞 一一
近頃ニ國風景一只是天國

三時の人 一オーストリイー首相シュシュニク 二三
五分利債低利借換の進捗 二〇

國際経済報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 859)

號一十三第 卷七十第

昭和十七年十一月十三日發行

特輯

【主要目次】

歐洲政局變動の鳥瞰

轉回する歐洲政局	七
英國の權威失墜と補強工作	八
佛國の現狀維持策	一〇
獨逸の三大要求	一一
戰勝の餘威を驅る伊太利	一四
獨撲協定をめぐる諸小國	一五
蘇聯の協調外交	一七
獨撲協定の成立	一九
海峽條約の改訂	二〇
解決を迫られる綿布輸出統制	二二
人絹パルプの現狀と自給策	二四
株取改革案を繞る立會停止騒ぎ	二五
アメリカにも株取改革論争	二六
フランス人民戦線と「二百家族」	二一

定價廿五銭

同盟通信社

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 860)

號二十三第 卷七十第

行發日六月八年一十和昭

【主 要 目 次】

- 簡保金額の引上げと定期保險の新設 一五
我が國貿易の將來と輸出組合 阿部藤藏 一七
濠毛不買と羊毛相場の前途 一七
飛躍的に發展する合作社運動 一四

西南の沒落と蔣介石の統一工作

西南の舉兵と二中全會の經過 七

西南派沒落の主因 八

西南派沒落に伴ふ諸問題 一〇

蔣の全支統一工作 一一

北支問題の歸趨 一三

= 内外ニース = 陸軍の異動と異動評 一二
= スペイン革命叛亂の經過 一二

= 海外トピック = 米國の麥稈帽景氣—新巨船の威力—英米映畫事業比較 一二
共產村の解消—ゴンドラ機械化論—近頃ソ聯青年氣質 一二

アメリカの本年度豫算 一九

國際鬭爭に發展するスペインの叛亂 二〇

スペイン革命に踊る人々 二一

定價廿五銭

社 信 通 盟 同

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 861)

號三十三第 卷七十第

行發日三十月八年一十和昭

【主要目次】

セメント紛争の解決 一四

日印協定第二年度の實績 一六

好調のアメリカ上期景氣 一九

滿洲特產物の好況 二一

小康を呈する支那經濟

好轉せる上期貿易 七

焦げついた上海爲替 一八

支那財政の特徵 一〇

新興支那と日支經濟關係 (視察印象記) 一一

ギリシャも右翼獨裁強行 二三

二内外概觀 = スペイン革命國際化、統制強化と財界小康 六

ニュース = 電力國營論争白熱化す 三一

二時の人 = 新朝鮮總督南次郎 三七

所得稅はどう變るか 二四

一八

定價廿五錢

社信通同盟

國際經濟報

(No. 862)

號四十三第 卷七十第

行發日十二月八年一十和昭

【主 要 目 次】

- 支那共產軍の動靜 一五
フランス銀行の改革成る 一七
アメリカ労働同盟分裂の危機 一八
海上労働争議の顛末 一九

革命的低金利第一段階の検討

低金利政策と金利低下の趨勢 七

銀行合同と金融統制政策 一一

低金利と生保界 一二

低金利の社會的影響 一三

二内外概觀 大口起債一段落、特銀の配當 六

二ニユース 商工中央金庫定款
米獨通商關係常道に復歸 二八

二時の人 電力反對論
の立役者 林安繁、池尾芳藏 二五

オリムピック經濟學 二三
人絹紛爭に裁定下る 一一

社信通同盟

國際經濟報

(No. 863)

號五十三第 卷七十第

行發日七十二月八年一十和昭

【主 要 目 次】

會計年度變更問題

鐵道・通信兩會計の益金繰入問題

苦難期に立つ對外貿易の検討

綿布の全面的輸出統制成る

製粉界は原料高で不況

スペイン動亂と歐洲對立の激化

動亂の原因とその経過

靜觀を續ける英國

政府軍に味方する佛蘇

獨伊の革命軍支持

轉換期の羊毛工業

ニュース= 國策決定の事前工作と國策十一項目の採擇

太平洋會議で日本の膨脹限度討議

駐英ドイツ大使リツベントロップ

ナチス公債政策の金融的背景

社信通盟

國際經濟報

YOK

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 864)

號六十三第一 卷七十第一

昭和十九年三月一日發行

【主要目次】

北支經濟開發とその前途

濠粉閉出しと日滿經濟統制

對支砂糖輸出減退と密輸

支那棉の空前の增收

棉花輸入分散と原料國策

日滿支ブロツクの諸問題

成都事件と今後の日支關係

國策決定と庶政一新の前途

轉形期の硫安界

山東中央化工作の進捗

一八

七大國策の決定

二四

ニュース

電力統制四相會議
臺灣總督更迭

二五

ル大統領世界平和會議の招集を提唱か

三〇

内閣三長官論

一一

定價廿五銭

同盟通信社

國際經濟報



(No. 865)

號七十三第一 卷七十第一

昭和十九年十月九日發行

【主 要 目 次】

植民地再分割への反対論

分割論の反動的役割 ブハーリン 一四
植民地の過大評價 フレデリック・クー 一六

勸農合併と農村金融

十年度國庫現計と明年度豫算 二〇

羊毛資源と自給策の検討

羊毛輸入分散の目標と可能性 一四

羊毛自給の現状と將來 一五

人造纖維の代替性の限度 一六

満洲パルプの價值と將來 一七

好轉せる満洲國の經濟情勢

田中鐵三郎 二三

世界の小麦需給

二五

ニュース
人絹界の紛糾落着

三二

アメリカの本年度豫算見積替

三五

時の人
臺灣總督小林躋造

二八

蘇聯の經濟政策の變遷

二六

社 信 通 同 盟

國際經濟報



(No. 866)

號八十三第 卷七十第

行發日七十月九月一十和昭

【主 要 目 次】

- 赤字公債發行を繞る金融界展望 一五
人絹操短問題の紛糾と需給の將來 一六
白金相場の奔騰 二二
フランス經濟難局と金流出再開 二三

鐵鋼國策と鐵鋼界の現狀

躍進する鐵鋼事業 七

鐵鋼自給策の目標と前途 九

昭和製鋼所と日滿統制 一一

鐵礦資源の現狀と開發の方向 一三

- 陸軍の労働組合禁壓と無產戰線 二八
蠢動する十九路軍 二九

内外概觀=電力國營への曙光、物價の昂騰 六

=ニュース=赤字公債二億五千萬圓發行 三三
ナチス第八回黨大會とボルシエヴィズム攻撃 三五

世界における羊毛の生産消費 二五

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 867)

號九十三第一 卷七十第

昭和十九年十月四日發行

【主 要 目 次】

- セヤハトは如何なる途を選ぶか 二〇
ドイツの封鎖マルク制度 二一
フランスの經濟統制 二二
メーン州選舉と米國大統領戰展望 二三

對滿移民國策の檢討

- 對滿移民政策の政治的意義 七
移民政策の經濟的價值 八
移民の沿革とその可能性 一〇
百萬戸移民計畫の大綱 一一
移民の誘致助成策 一二

劃期的稅制整理案成る

- 中南米貿易の現状 一六
沸騰する產金景氣 二四
ニュース 電力統制關係資料 二八
鈔票廢止、滿洲帝國協和會精神を宣明 三四
國民政府外交部長 張群 二六
滿洲國の上半期貿易の解剖 一八

定價廿五錢

社信通盟

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 本曜日發行

(No. 868)

號十四第

卷七十第

行發日一月十年一十和昭

特輯 稅制改革案の全貌

【主要目次】

定價廿五銭

稅制改革の歴史的背景

國稅整理案の解剖

地方稅整理案の解剖

國債利子課稅と第二種所得綜合問題

金融界への影響

產業界への影響

國民大衆の負擔はどうなるか

第二次日印會商とビルマ分離問題

上半期中の日英綿布輸出の角逐

新嘉坡ゴムを繞る日英商權抗爭

大連鈔票の廢止

二時の人々 赤軍を擔ふ人々

フラン遂に平價切下

三二

三五

三一

【臨時增頁】

同 盟 通 信 社

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 869)

號一十四第

卷七十第

昭和十年八月一日發行

【主　要　目　次】

満鐵の職制改革と今後の動向

中國幣制の不安と安定基礎の再検討 一六

一九三五年の満洲國國際收支 二二

支那航空網の發達と米獨資本の支配權 二十四

燃料國策と石油界の大勢

我國石油需給の現狀 八

石油業法と貯油義務問題の解決 一〇

石炭液化の背景と我國の現狀 一一

オイルシェール工業の現狀と發展性 一三

無水酒精強制混用問題 一四

明朗な世界石油界 一四

満鐵新理事 中西敏憲、阪谷希一 一八
=時の人=

フランス藏相 オリオール 二二

金ブロツク崩壊の我國への影響 二六
フラン没落後の情勢 二八

本年第三四半期總索引目錄 卷末に添附

定價廿五銭

同人通信社

國際經濟報

大正九年十月九日第三編第三回
毎週一回木曜日發行

(No. 870)

號二十四第

卷七十第

昭和十年十月五日發行

【主要目次】

滿洲國經濟建設の再轉換と

產業開發五ヶ年計畫……………一七

石油漁業交渉成立と日蘇關係の明朗化……………一九

イタリーのリラ貨平價切下げ……………二一

海運國策の全面的検討

活況を呈する海運界の現狀……………九

海運國策の背景と大綱……………一

各國の航路補助と遠洋航海助成策……………二

船舶改善施設の實績……………三

船舶金融の現狀……………五

造船景氣の概觀……………六

フランスの關稅引下げ……………二二

日支交渉に踊る三人男……………二四

川越・須磨・桑島……………二四

行政機構改革を繞る政變說の種々相……………二六

定價廿五銭

同盟通信社

國際經濟報

(No. 871)

號三十四第

卷七十第

行發日二廿月十年一十和昭

【主要目次】

新型金本位制の成立

金本位の行衛と金の役割

金の供給とその影響 ケーンズ

スペイン内亂を繞る歐洲政局 ベルチナツクス

支那を繞る日英の抗争

英支協定と英國の對支政策轉換

北支密輸と特殊貿易の近情

わが對支貿易の衰退

支那貿易に現れた列國の抗争

ドイツ税制の動向

米國の大定期取引

大嵐を食つた商工省の新陣容

増税率の發表と金融市場

國際經濟報

大正九年十月九日第三補郵便物可
毎週一回 木曜日發行

(No. 872)

號四十四第

卷七十第

昭和十年十月廿九日發行

〔主要目次〕

米國大統領選舉への展望	一九
ドイツの新四ヶ年計畫	二三
イタリーの常態復歸工作と米伊互惠交渉	二五
指標から見た世界景氣の現段階	二六

電力國家管理案遂に成る

四相會議から閣議決定まで	一〇
國家管理案の大綱	一一
關係法律案の検討	一二
本案に伴ふ豫算案	一三
當業者の反対運動の歸趨	一七

鹽の需給現状と將來

二七

ニュース

行政機構改革、朝鮮經濟調査會	三二
イギリス輸出信用保證部の駐支代表任命	三九
獨伊共同戰線結成とイタリーのエチオピア併合承認	四一

貿易中樞機構整備問題はどこへ行く?

三〇

定價廿五錢

同 盟 通 信 社

國際經濟報

大正九年十月九日第三回便物販賣
毎週一回 木曜日發行

(No. 873)

號五十四第

卷七十第

行發日五月一十年一十和昭

【主 要 目 次】

第三四半期迄の對外貿易検討 ······

織維製品輸出の趨勢 ······ 一八

日印條約廢棄と日印會商の展望 ······ 一九

支那の農村景氣 ······ 二四

再燃せる對滿投資問題

國策と資本の矛盾 ······ 一九

對滿投資の基礎的條件 ······ 一〇

滿鐵の飛躍的膨脹とその役割 ······ 一一

滿鐵の事業計畫擴張と新資金計畫 ······ 一二

對滿投資の實績と將來 ······ 一四

國際錫カルテルの危機 ······ 二二

銅相場は遂に十セント示現 ······ 二三

世界ゴム界は益々好調 ······ 二四

イタリー外相 チアノ伯 ······ 二七

定價廿五錢

社 信 同 盟

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 874)

號六十四第

卷七十第

行發日二十月一十年一十和昭

【主 要 目 次】

朝鮮經濟と帝國經濟圏

朝鮮經濟の發展と朝鮮經濟調査會	一九
朝鮮鑛工業の現狀と統制問題	一〇
朝鮮農業政策の轉換	一三
朝鮮貿易の地位と現狀	一五
朝鮮金融の統制改革問題	一六

歐洲における左右對立の尖銳化

スペイン内亂と不干涉委員會を繞る對立	一九
獨伊協定と提携の限界	二二
イギリス外交の現實的打算	二四
ソ聯外交の敗退と今後	二五
フランスの孤立と内政の危機	二七
動搖渦中の小國群	二九

ルーズベルト壓倒的に大勝	三一
アメリカの沖仲仕罷業	三三
幣制改革一年の中國經濟情勢	三三
時の人 大藏省主税局長 山田龍雄	三八
行政機構改革問題の行衛	三五

國際經濟報

大正九年十月九日第三回 木曜日發行

(No. 875)

號七十四第

卷七十第

行發日九十年一月十日和昭

【主 要 目 次】

アメリカ經濟の再吟味

インフレーションの動向 九

互惠通商政策の實績と目標 一二

ニューディールの現段階と將來 一四

大審院組上の事件 一七

第三期の景氣更に躍進 一八

工業鹽の自給策成る 二〇

支那の銅幣改革氣運昂まる 二三

ニュース
行政機構改革軍部案の全貌 二九
輸出統計兩稅創設 三二

ドイツ國際河川條項を廢棄 三九

煙草値上げの變遷 二五
取引所共管問題の裏表 二七

同 盟 信 通 社

定價廿五銭

國際經濟報

(No. 876)

號八十四第

卷七十第

昭和十年一月廿六日發行

【主要目次】

- 頓に硬化せる金融基調の解剖 二〇
海運國策と航路統制法の役割 二二
セメント操短更に擴張 二四
五大電力漸く結束を固む 二五

貿易統制の強化と關稅政策の轉換

- 貿易政策の進展と貿易統制法の制定 九
複關稅制度の採用と關稅政策の轉換 一一
各國の複關稅制度 一三
創設される輸出稅 一五

世界通商の打開策

- 支那の對外貿易近狀 一八

- ニュース
第三種所得稅率發表 三〇
日支交涉停頓と綏遠の軍事行動 四四

- スペイン首相カバリエロ 二七

社信通同盟

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 877)

號九十四第

卷七十第

行發日三月二十年一十和昭

【主 要 目 次】

滿洲興業銀行創立の意義

滿洲に於けるバルブ資源 二二

糸價の奔騰と需給基調の改善 二三

労働人員の増勢と實收賃金の低下 二七

明年度豫算とインフレの發展

展開される第一次インフレ 九

明年度豫算案の解剖 一〇

公債政策の轉換と金融統制 一一

軍事費の激増と經濟界への影響 一七

豫算案が出来るまで 二〇

日獨協定の成立

獨逸外交の三人男 三〇

ニュース 明年度豫算案閣議承認 三七

日伊新協定成立 五〇

内蒙古の雄徳王 三三

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物認可
毎週一回 木曜日發行

(No. 878)

號十五第一 卷七十第一

昭和二十年十月二十一日發行

第八回 ソヴェート大會と新憲法

【主 要 目 次】

第八回 大會とその背景

新憲法の趣旨 スターリン 一〇

反ファシズム戦線の提唱 リトヴィノフ 一八

日獨協定への批判 モロトフ 一九

ソヴェート聯邦新憲法全文 二〇

コミニテルンの大黒柱デイミトロフ 二六

郵便料金値上案の大綱成る 三〇

紡績操短率決定と人絹操短率据置 三三

日伊取極めと既成事實の相互承認 三五

米洲平和會議開會、總會討議を開始 三六

米佛戰債整理交渉を再開 三八

川越、張群交渉遂に決裂 四三

吉田長官辭任の投する波紋 二七

同 盟 通 信 社

定價廿五銭

國際經濟報

大正九年十月九日第三種郵便物記号
毎週一回 木曜日發行

(No. 879) 號一十五第 卷七十第

行發日七十一年十月二十日和昭

【主 要 目 次】

定價廿五銭

金融統制の發展と今後の動向

金融統制インフレの本質……………六

金融統制の現段階……………一〇

金融統制の發展とその方法……………一一

日本紡社長菊池恭三と小寺源吾……………二七
更迭した大

金 屬 景 氣 と 自 紿 策 ………………一四
鐵 鋼 飢 餓 の 深 刻 化 ………………一七
綿 業 の 好 轉 と 紡 織 操 短 の 緩 和 ………………二五

滿洲國の保険統制……………一一
列國の國防費の膨脹……………二三
英國の軍需工業國營論……………二四
日支關係の今後……………二〇
西安クーデタ……………四五

國際經濟報

(No. 880)

號二十五第

卷七十第

行發日四廿月二十年一十和昭

【主 要 目 次】

- 西安兵變と支那政局の行衛 一九
生死關頭の蔣介石 二一
對滿移民政策と農村問題 二四
米國勞動總同盟の分裂と勞動運動の動向 二八

解決に近づく日濠會商

- 日濠協定の大綱成る 九
新協定成立の影響 一一
濠毛不買後の羊毛工業界 一三
危機を孕む日濠海運問題 一四
世界のステップル工業の現状 一六

日本、人肥の合併

- 日本は何處へ (エコノミスト誌) 二〇
ニース 郵便料値上げ發表 三四
西安クーデターと經濟界影響 三八
アメリカ労働不安濃化 四四